

フードバンク仙台 2025年度・活動報告会

2年前から2倍になった支援人数の背景と 今後の課題を報告

年間1万人・100トン以上の食料支援を実施！

2026. **8.30** 日 14:00～16:00
(13:30開場)

参加
無料

要申込

第一部 14:00～15:10 2025年度と2026年4月～7月の活動報告

第二部 15:10～16:00 普段の食料支援活動の様子について

★第二部では、ボランティアさん数名にもご自身のボランティア活動の内容についてお話しいただきます。

会場

仙台市戦災復興記念館 4階・第2会議室 仙台市青葉区大町2-12-1

「Zoom」によるオンライン参加も可 ※ZoomのURLはお申込完了後にメールで送付いたします。

参加
方法

申し込みフォームにて受付しております。

※開催日前日・8月29日(土)22:00まで受付

※イベントに参加できないボランティア希望の方向けに、個別説明会の日程調整も可能です。

参加申し込みフォーム

<https://forms.gle/veKTLXhMCbTgkQRM9>



2025年度の食料支援依頼の件数や事例、
利用者からのお礼のメッセージも多数紹介。
活動から見える課題や貧困の実態に加え、
ボランティアさんの普段の取り組みもお話します。

本イベントでは、フードバンク仙台に寄せられた2025年度の食料支援依頼の件数や事例から、現在の日本社会で年々深刻化する貧困の現状をお伝えします。また、そうした現状から見てくる食料支援や行政の生活困窮支援制度が抱える課題について報告するほか、食料支援の利用者からのお礼のメッセージも多数紹介いたします。

さらに、実際にフードバンク仙台のボランティアに参加している方々から、ご自身の参加のきっかけや普段のご自身のボランティア活動内容について話していただく時間も設ける予定です。

「どんな活動をしているのか知りたい」というだけでも大歓迎です。また、当団体にご寄付されたことがある方やご寄付をご検討中の方にもぜひご参加いただき、私たちの普段の活動の様子について知っていただく機会にしていいただければ幸いです。



主催・お問い合わせ

貧困と飢餓をなくす

NPO法人

フードバンク仙台



[https:// foodbanksendai.com](https://foodbanksendai.com) [フードバンク仙台](#) [検索](#)

お問い合わせ

電話 **080-7331-6380** (開所日のみ)

メール foodbanksendai@gmail.com

開所日時

月・木・金 / 10:00～16:00 (祝日休み)

〒980-0022 仙台市青葉区五橋2丁目6-16 第2ショーケービル101号室



フードバンク仙台について



私たちNPO法人フードバンク仙台は、貧困と飢餓を無くすことを目的に活動しているNPO法人です。



2020年5月に結成して以降、2026年6月末までに仙台市内の延べ約4万5千人の生活困窮者へ食料を無償で提供してきました。

2025年度には過去最多となる約4000世帯、約9700人(いずれも延べ)に食料を提供しました。また2026年4月～6月は1か月あたり1,000人を超える支援依頼が寄せられており、このペースが続くと今年度は当団体初の1万人を大きく超える支援人数となる可能性が高くなっています。

この背景には、食料価格やその他の物価が大きく高騰する一方で、最低賃金、年金や生活保護などの社会保障制度の給付額の上昇は追いつかず実質的に減額となっていることが挙げられます。

こうした状況下で、私たちのもとには、水道・電気・ガス代の滞納で何らかのライフラインが停止している世帯や1日1食でしのいでいる世帯、家賃を支払えず退去通知が届いた世帯、3日以上何も食べていない一人暮らし世帯など、「飢餓」や「生存の危機」と言わざるを得ない相談が多数寄せられています。また日本語学校等に通う南アジア出身の留学生にも、母国が温暖化による洪水や政情不安などの影響で深刻な経済危機に陥り、日本に留学後も働き先が中々見つからず、学費や生活費を支払えず、食料に困る状況に追い込まれている世帯が多くいます。私たちはこうした困窮状況にある留学生も食料支援で支えています。

このように行政の支援が行き届かない貧困が広がる中で、私たちフードバンク仙台は2026年4月に行政への政策提言や改善申し入れを行いました。しかし、現場で直面する生存の危機は行政の改善を待つことができない状況です。そこで私たちは行政への改善申し入れを続けながら、自分たちでできる生活困窮世帯への無償の食料提供や生活相談支援も引き続き継続しています。現在は100名近いボランティアが興味関心や得意分野を活かした様々な活動に参加し、食と希望と命を守る支援活動を支えています。



食料支援利用者からのありがとう!メッセージ



子どもには辛い思いばかりさせてしまい生活に余裕がなく、もうダメかな…、もう生きるのがしんどくてしんどくて悩んでいた時に依頼し、なんと次の日の夕方には玄関の前に段ボール3箱がありました。迅速な対応と優しさに涙が止まりませんでした。世の中捨てたもんじゃないと辛くても生きる希望になります。この優しさを今度は私も困っている方々に繋げていきたいと思いました。

あと何日お米が持つだろう。どうしよう。夜中に目が覚めてお金と食べ物の心配…眠れなくなり不安が襲う。そんな中、本当に助かりました。いただいたカレーを「うまいうまい」と何度も言いながら食べる息子を見てお願いして良かったとしみじみ思いました。ありがとうございました。今日はよく眠れそうです。

私は学生ですが、新型コロナウイルスの影響でアルバイトがあまりできず、仕送りも少なくなって困っていました。暖かい支援に本当に感動しました。将来社会人になったときに恩返しできるよう、日々勉学に励んでいきたいです。ありがとうございました。

今日玄関の前に荷物がありませんでした、嬉しいです。果物やレトルトや缶詰なんて贅沢だと思い、長らく買えませんでした、ありがとうございました。ご恩忘れません、自分もきっと支援側になれるように、勇気と希望をいただきました。

だれもが貧困や飢餓で苦しむことのない社会を目指して、一緒に活動しませんか？

WEBサイトから
ボランティア活動の詳細をご覧ください。
<https://foodbanksendai.com/volunteer/>

